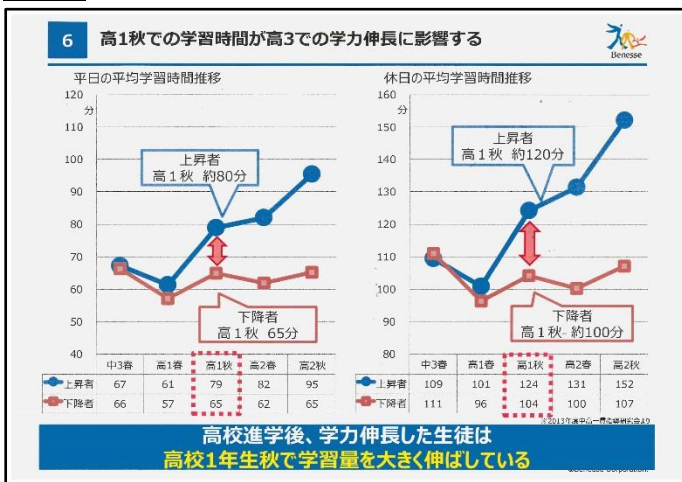


■ 11月の記述模試は、すごく大事！

もうすぐ11月。最初の連休には各学年とも校外模試が予定されています。11月の模試は1学期の模試の反省を踏まえた軌道修正ができたかどうかを確認するという大切な目的があり、当然その修正の度合いによって7月の模試から大きく成績が変動する、という性質があります。そろそろ来年度に向けての意識をしていく時期。今回の模試をそのための起爆剤として活用したいものです。1・2年生はデジタルサービスに目標点と志望校を登録し、1学期にどんな課題を抱えていたか（そしてその課題は克服できているか）を振り返ってみましょう。

1年生



9月に実施した進路講演会での話を覚えていますか？1年生の7月から11月は成績が大きく変動する時期です。主に中学校の内容が中心だった7月模試と比べ、高校に入ってから学習の成果が問われるのが今回の模試です。上の資料（進路講演会）から分かるように早めに受験を意識して日頃の学習に活かしている人は当然受験での成功率は上がります。今のうちからしっかり模試に向き合う学習スタイルを確立しておきましょう。

2年生

今回の模試からいいよ5教科型の受験になります。「英数国もままならないのに理社（情）なんて」と不安を感じる人も多いと思いますが、基本的なスタンスは変わりません。まず英数国の柱をしっかり強くする、という目標は変えずに、そこからちょっとずつ理社のウエイトを上げていけばよい。当然今まで以上に学習のバランスの工夫が求められますが最初はうまくいかなくてもいいのです。これから自分はどの教科（分野）に力を注ぐべきなのかよく考える機会にしましょう。修学旅行が間

近に迫り学習に対するモチベーション維持が難しい時期ですが、例年修学旅行を境にピシッと切り替えられるのが前女生です。修学旅行後はもう「3年0学期の始まり」と腹をくくって学習に取り組めるようにしたい。

3年生

記述型の全国模試が終了し、残すはマーク模試のみとなりました。これから2次試験までの間、自分の客観的な実力を測るものさしがなくなるというのは不安もあるとは思いますが、だからこそここではっきり伝えたいのは「これからの時期こそ抜け駆けの大チャンス、大逆転の大チャンスである」ということ。これからは周りとの比較を気にすることなく自分の学習に専念できるわけですから、周りの隙をついて正々堂々と「抜け駆け大作戦」を実行しよう。

とはいえ、精神的にも不安定になりがちな時期でもあります。努力しても成果が現れない焦りから、つい弱気になったり投げやりな気持ちになったりしていませんか（まさか家族に八つ当たりなんてしてないですよ）。不安や焦りは皆一緒。こんな時こそ人に優しく接して徳を積みましょう。生活リズムを整え Ca と VitaminC（ミカン?）をたっぷり摂取して心穏やかに過ごしましょう。

11月の重みを十分理解して、願掛けしながら決意を新たにしませんか。「受験が終わるまで〇〇は封印」など我慢事を決めて、強い決意で今月を過ごしましょう。

■ 8月全統記述模試の考察

各学年で夏休み中に実施した、全統記述模試の結果が返却されています。復習はしっかりやりましたか？

先日河合塾の模試担当の方が来校し、この模試の結果を踏まえた、本校（あるいは群馬県全体）の特徴や課題についての分析結果をいただきました。分野・設問ごとに、他校と比べ下回り度の多い分野についてまとめてみましたので学年ごとに振り返ってみましょう。

1年生

英語では、まず「語彙・熟語」の得点率がまだ伸び悩み状態。この分野こそ、日々の地道な努力（隙間時間の活用や小テストへの取り組み）が如実に表れる分野ですよ。数学は「2次関数」の確立が急務。2・3年生になるとさらに実感しますが数学の問題の多くが最後には2次関数に帰着されます。学年が上がるほど重要度が増す分野といってもいいかもしれません。国語については

古文漢文はますます。現代文（評論）でもリードを奪いたいですね。

対象模試：2024年度第2回全統高1模試（8月）

設問番号	英語-2	英語-5	数学-3	国語-1
	語い・熟語	長文総合読解	2次関数	現代文
	(20)	(50)	(50)	(60)
	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率

--	--	--	--	--

2年生

英語に関しては、1年生同様「語彙」そして「長文」が課題。問題6の長文総合Ⅱのほうはますますなので、どのようなタイプの長文が苦手なのか分析の必要があるかもしれないですね。数学は「三角関数」。覚える公式が多くて大変ですがそこをクリアすれば機械的な処理で解決可能な問題が多い分野です。5教科型の模試が本格的になる前に、数学の基礎固めをしっかりとやりましょう。

対象模試：2024年度第2回全統高2模試（8月）

問題	英語-2	英語-5	数学-4	数学-5	国語-1
	語彙	長文総合Ⅰ	確率	三角関数	現代文・評論
	(20)	(54)	(50)	(50)	(60)
	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率

--	--	--	--	--	--

3年生

対象模試：2024年度第2回全統共通テスト模試（7月）

設問番号	英語-7	英リス-5	国語-3	数学ⅠA-4	数学ⅡBC-4	数学ⅡBC-7	情報Ⅰ
	読解-物語	長文-図表	現代文-図表	場合の数確率	数列	曲線と複素数	全体成績
	(15)	(15)	(20)	(20)	(16)	(16)	(100)
	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率	受験人数 得点率

--	--	--	--	--	--	--	--

3年生は共通テスト模試の分析をいただきました。英語Rについては、読解問題の出来が全国的に見ても弱いという指摘があります。国語は20点分相当の「図表問題」が他分野と比べ今一つ。もしかしたらここを後回しにした結果、十分な時間を確保できなかったのでは、とも考えられます。だとすれば今後は時間配分と解答順序について戦略の練り直しが必要かもしれません。数学は主に理系が選択する数学Cの定着が不十分。この分野は個別試験でも課されることが多いのでこの秋時間をかける必要があります。一方、新科目の情報Ⅰは県内でも抜きんでた好結果。前女の強みになりつつあります。1000点満点の配点であれば例えば数学の90点と情報

■現役医師による講演会が行われました

21日の放課後に、本校OGで現在は群馬大学病院小児科医として勤務されている現役医師の先生をお招きし、講演会を開催しました。1・2年生を中心に約40名の生徒が参加し、現役の医師の方から現在の医療の状況や後輩に向けてのアドバイスなど、多くのメッセージをいただきました。



特に、医師になってからも常に勉強し続けなければならない大変さを感じつつも、「医師という仕事はとても楽しいしやりがいがある」と力を込めて話す姿に、勇気もらった生徒も多かったのではないのでしょうか。2年生は12月に県高校生医学科セミナーも予定されています。

の90点には全く同じ価値があるわけで、これを活かせば情報の配点が高い大学で有利に勝負することができます。

学年全体の傾向としては、理科社会の仕上がりがやや不安材料です。これからの学習においては、英数国の得点を安定させながら理科社会の積み上げを目指していく必要があります。

3年生は来週のLHR（学年集会）において、これからの学習における戦略の立て方（受験カレンダー作成）と、志望校候補群選定の流れ（αβγプラン作成）について説明する予定です。